

## 専攻医(後期研修医)募集にあたって



平成 29 年に開始された専門医制度において、当院は専門研修基幹施設として専攻医を募集しています。本プログラムでは他施設と連携して研修することで、一般的な小児疾患のみならず新生児医療や集中治療を要する重症疾患、腫瘍性疾患あるいは地域医療などの経験を積み、こどもの「総合診療医」として活躍できる力を養います。

定員は 2 名です。詳細はウェブサイト上にプログラムが掲載されていますのでご参照ください。

先輩専攻医からのメッセージです。

◎中田 圭一 先生◎

～令和 7 年度より研修～



私は当院で初期研修を2年間行い、引き続き小児科専攻医として研修をさせていただいています。当院のプログラムの特徴は、比較的早い段階から主治医や当直業務を経験できること、そして外来診療を担当できることです。責任を持って患者さんの診療に携わることで、主体的に学びながら成長できる環境が整っています。

専攻医研修が始まると、まずは上級医とともに患者さんを診察し、指導を受けながら入院患者さんの診療を担当します。研修を重ねる中で、退院後の外来診療や指示出しなども徐々に任せられるようになり、主治医や当直医として独り立ちするための経験を積んでいきます。最終的には週 1 回の外来枠を担当し、主治医や当直医として主体的に診療を行うようになります。

当院は神戸西地域の中核病院であり、多くの患者さんがいわゆる common disease です。教科書で学んだ知識を実践する機会が豊富にありますが、一方で教科書だけでは対応が難しい症例や、初めて経験する疾患、診断に苦慮する症例に出会うこともあります。しかし、主治医や当直医として独り立ちした後も決して一人で抱え込む必要はありません。上級医の先生方は非常に相談しやすく、日中はもちろん、夜間帯であっても親身に相談に応じてくださいます。

また、当院で2年間研修した後は、3年目に兵庫県立こども病院をはじめとする専門医療機関で研修する機会があり、地域中核病院では経験しにくい貴重な症例についても幅広く学ぶことができます。

さらに、学会発表や論文作成についても、上級医の先生方から手厚い指導を受けることができるため、市中病院でありながら学術的な研修にも十分に取り組むことができます。

最後になりますが、当院の研修プログラムは、主体的に診療へ取り組みながら、手厚い指導・サポートを受けて成長できる非常に魅力的な研修プログラムだと思います。ぜひ、当院の小児科に来てください。